

「第2回 ウィークエンドな森あそび」報告書

令和3年11月23日（火・祝）9：15～13：20 日帰り

【目的・趣旨／概要】

家族が自然体験を通じて触れ合う機会が減少する中で、幼児から小学校低学年程度の子どもとその家族を対象に、当施設で実施可能な自然体験活動の機会および場を提供する。あわせて、当施設における家族利用の裾野を広げるべく、施設認知度の向上および利用促進を図る。

【参加者】

対象：5歳～小学2年生の子どもを含む家族

実績：7家族24名 未就学児5名、小学生7名、大人12名

【プログラム概要】

【集合・受付】9時15分～9時35分

【出合いのつどい】9時45分～10時00分

参加者の初顔合わせの場として設けた。それぞれの家族の自己紹介に始まり、なすかしの森に生息する動物の鳴き声を再生して当てるクイズなどで、森に入る前に感覚を澄ませるよう導入を行った。

【落ち葉であそぼ】10時00分～11時20分

自然の中に設置した人工物を目を凝らして見つけるアイスブレイクで、自然への五感を高めた後に、落ち葉や木の実をビンゴ形式で探しながらすかしの森を散策した。

【写真立て作成・装飾】11時20分～12時00分

前の時間で集めた自然物を使って、厚紙で作成した写真立てを思い思いにデザインし、世界に一つだけの写真立てを作成した。

【昼食】12時00分～13時00分

【別れのつどい】13時00分～13時20分

家族ごとに今回の事業で良かった点や印象的だった点へのコメントと共に家族写真をプレゼントした。また、なすかしメンバーズクラブへ7家族中6家族が入会し、満足度の高さが伺えた。

【成果】

・屋外でのアクティビティと屋内での工作活動へのつながりへの満足度が高かったことから、今後事業を組み立てる際の材料とすることができた。

・事業終了後、多くの方になすかしメンバーズクラブに入会していただき、この事業の目的の一つとしている、施設の認知度向上を図ることができた。

《参加者の声》

- ・探検にいて楽しかった（子ども）
- ・外で葉っぱを拾ったのが楽しかった（子ども）
- ・初めて参加しましたが、子どもたちも楽しく過ごしていました。ご飯ももりもり食べてよかったです（子どもが初めてピーマンたべました）。（大人）
- ・どんぐり拾いなどはいつも楽しんでいます、拾ったものを作品にする体験ができてとても良かったです。（大人）
- ・秋の自然でたくさん遊ぶことができました。子どももたくさん見たり、走ったりすることができて楽しそうでした。（大人）

【課題と方策】

- ・「写真立て作成・装飾」の時間が足りない参加者も見受けられたので、シミュレーションの上、より適切な時間設定ができたならよかった。
- ・アンケートでは「もっと自然とふれあいたかった」といった旨の意見も複数いただいている。こどもの体力次第にもなるが、自然に触れる時間をより長くとれるようなプログラム作りも今後は考えていきたい。
- ・今回多くの方になすかしメンバーズクラブに加入いただいたので、これをより生かすためにも頻繁な情報発信などで、他事業への参加者増につなげていきたい。

国立那須甲子青少年自然の家〔作成〕事業推進係 横屋 周

